

講義名	日本語総合B（1年生のみ）			授業形態	
担当教員	井関 和恵	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

学部留学生として、大学生活に必要な基礎的かつ総合的な語解力をつける。
日本語の説明文や指示文、解説文、随筆などのテキストを読み、内容を理解する。また、広告文やパンフレット等の情報素材の中から必要な情報を採り出す練習も行う。

到達目標

大学の講義や日常生活の様々な場面において必要となる日本語の読解ができるようになる。
日本語能力試験の読解部門のレベルアップも目指す。

提出課題

ワークシートや宿題などは、授業内もしくはポータル上で随時指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各学生に課したテストや課題について一人一人にチェックおよびコメントを行う。また、全体の講評・解説なども行って、フィードバックをする。

評価の基準

授業への参加度（30%）、授業内発表（10%）、中間試験（30%）、期末試験（30%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回、出欠をとる。
- ・15分以上の遅刻は、欠席とみなす。
- ・授業には、辞書を持って来ること。
- ・全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受ける資格を失う。
- ・積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

日本語総まとめ読解シリーズなどプリント資料、もしくはウェブ資料を利用する。

授業計画

- 第1回 授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価方法、注意事項）
- 第2回 案内文、ダイレクトメールなど
- 第3回 広告文、情報・案内文など
- 第4回 カタログの文章、お知らせなど
- 第5回 説明書や保証書、通知の文章など
- 第6回 メールや手紙文、意見文
- 第7回 ビジネスレター、説明文
- 第8回 中間試験
- 第9回 グラフの説明文、エッセイ
- 第10回 新聞記事、小説
- 第11回 日記、新聞記事
- 第12回 小説、書評
- 第13回 雑談文、長い論説文
- 第14回 説明文、複雑な論説文
- 第15回 期末試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各資料の語句の読みや意味調べなどの予習を、1時間行うこと。復習には力を入れてほしい。文章を音読すると、記憶に定着しやすい。そしてなにより普段から日本語の文章に親しむこと（毎回3時間）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」になるための基礎能力として、必要な日本語能力を身につけ、活用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった場合は、教員にメールなどで必ず連絡すること。その後、授業に関する説明とともに課題が出されるので、必ず提出すること。